

学院大・短大 卒業式

金沢学院大学大学院の第六回学位記授与式、金沢学院大学の第十六回卒業証書・学位記授与式、金沢学院短期大学の第五十五回卒業証書・学位記授与式は三月

十八日、金沢市の石川厚生年金会館で行われ、美術文化専攻科の二期生を含む四百九十四人が門出を迎えました。学校教育法の改正に伴い、今年度から短期大学の卒業生に「短期大学士」の学位が授与されました。



石田学長から卒業証書・学位記を受ける美術文化学部学科代表
 〓 石川厚生年金会館

世のため人のために行動を

理事長告辞(抜粋)
 はなむけに「少しは世のため、人のために行動しよう」という言葉を贈る。自己中心主義(自己中)は実社会では相手にされなくなる。決められたことは守り、周囲や人に気を配ることで自ら成長してほしい。情けは人のためならずである。

学長式辞(抜粋)
 社会に待ち受ける障害を乗り越えるには、学校で学び身に付けたこと、人間の基本基礎に立ち返るのが正しい方法である。社会の崩壊に歯止めをかけるため、円満な人間関係を構築して、信頼しつる社会の構成員になってほしい。

卒業生の名に恥じない行動を心がけたいと誓いました。学部、学科、専攻科、大学院の代表は次の皆さん。
 卒業証書・学位記 水上真由美(言)、黒川佳奈子(生活)、佐々木暢子(食物栄養)、杉山有希(日文)、紙谷松美(国際)、北野敦士(経情)、永嶋裕子(産情)、山田茂雄(ネット)、小林公美(美工)、新田恵未(情)、中村慎吾(文化財)、青木良識(理工)、佐伯健司(研究科) 学長褒賞 清澤幸(言)、松本紗耶加(生活文化)、佐賀幸子(文)、中川真生(経営情報)、舟津梨花(美術文化)

石田寛人学長が、短大、大学院の各代表十三人に卒業証書、修了証書、学位記を授与しました。続いて、成績優秀者三十一人に対する学長褒賞を大学、短大の代表五人に手渡しました。

石田学長の式辞、飛田秀一学長が金沢学院理事長の告辞に続いて、奥田栄美子短大同窓会長が「明朗、誠実、健康に心

短大卒業生代表で答辞を読む中谷有香さん



答辞を読む大学卒業生代表の安田麻里さん



謝恩パーティー全体会で乾杯の発声をする石田学長

謝恩会も合同で

卒業祝賀・謝恩パーティーは金沢ニユーグラウンドホテルで行われました。大学院、大学三学部、短大に分かれてそれぞれ祝宴をスタートし、アトラクションなどで盛り上がりました。
 このあと全体会が、大学・短大合同で初めて行われ、宮本匡章学長長の祝辞に続いて、石田学長が乾杯の発声を行いました。



留学生在学長に出発挨拶
 四月から英国エクセター大学に一年間留学する文学部国際文化学科一年の北洵子さんと、同二年の前田哲宏君が三月十七日、石田寛人学長を訪ね、出発の挨拶をしました。写真左。

金沢大学に2人合格

金沢大学の平成十八年度入試で、金沢学院東高校から二人が合格しました。このほか国立関係では、富山大学に二人、新潟大学、電気通信大学、石川県立看護大学、防衛大学校に各一人が合格しました。

松田さん日春展初入選

日本画の第四十一回日春展で、金沢学院大学美術文化学部三年の松田響子さんの「こごち良い時間」が初入選となりました。本学関係では、卒業生の萩野佳乃子さん(金沢大学大学院)も初入選し、四月から本学教員に採用となる長谷川雅也さんが再入選しました。

発行・広報室